

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE さいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEE さいたま2016ver.2.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	パラマウントベッド(株)さいたま支店新	階数	地上3F
建設地	さいたま市緑区美園3丁目23-1,23-2,23-3,23-4	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	84人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,205時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集会所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2020年9月8日
敷地面積	2,016 m ²	作成者	(株)エネ・グリーン 臼井 千尋
建築面積	1,153 m ²	確認日	2020年9月8日
延床面積	2,979 m ²	確認者	(株)エネ・グリーン 定森 淳一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

環境品質 (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%
② 建築物の取組み: 87%
③ 上記+②以外の: 87%
④ 上記+: 87%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.9
Q2 サービス性能: 3.0
Q3 室外環境 (敷地内): 2.5
LR1 エネルギー: 3.0
LR2 資源・マテリアル: 3.2
LR3 敷地外環境: 3.2

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>ライフサイクルCO₂排出量を87%に抑制した。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>開口部にLow-E複層ガラスを使用し、外皮性能に配慮した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い材料を積極的に使用し、耐用性・信頼性の向上に配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPI_m=0.84, BEI_m=0.81で省エネルギー性能に配慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>外構の路盤材に再生材を使用して、資源・マテリアルに配慮した。</p>
	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>条例を満たす緑地計画、また、屋上緑化に努め、敷地内緑化に努めた。</p>
	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出量を87%に抑制した。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEEさいたま2016年版
パラマウントベッドさいたま支店新築工事

欄に数値またはコメントを記入 ■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.8
Q1 室内環境							0.36			2.9
1 音環境						3.2	0.15			3.2
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40			
1.2 遮音						3.0	0.40			
1 開口部遮音性能						3.0	0.64			
2 界壁遮音性能						3.0	0.36			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音		事務所:床・天井の二面に吸音仕上材を使用,集会所:なし				4.0	0.20			
2 温熱環境						1.9	0.35			1.9
2.1 室温制御						2.8	0.50			
1 室温						2.0	0.38			
2 外皮性能		事務所(集会所):外皮U=0.72(0.54)開口SC=0.49(0.49),U=3.0(2.69)				4.0	0.25			
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38			
2.2 湿度制御						1.0	0.20			
2.3 空調方式						1.0	0.30			
3 光・視環境						3.3	0.25			3.3
3.1 昼光利用						4.2	0.30			
1 昼光率		事務所用途::2.73%				5.0	0.60			
2 方位別開口										
3 昼光利用設備						3.0	0.40			
3.2 グレア対策						3.0	0.27			
1 昼光制御						3.0	1.00			
3.3 照度						3.0	0.16			
3.4 照明制御						3.0	0.28			
4 空気質環境						3.8	0.25			3.8
4.1 発生源対策						4.0	0.50			
1 化学汚染物質		共通:内装及び天井裏の材料はF☆☆☆☆以上を使用				4.0	1.00			
4.2 換気						3.3	0.30			
1 換気量						3.0	0.33			
2 自然換気性能		事務所用途:有効開口面積は床面積の1/30以上				4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33			
4.3 運用管理						4.0	0.20			
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御		事務所用途:負圧の喫煙室				4.0	1.00			
Q2 サービス性能							0.30			3.0
1 機能性						2.8	0.40			2.8
1.1 機能性・使いやすさ						2.1	0.40			
1 広さ・収納性						1.0	0.30			
2 高度情報通信設備対応						2.0	0.30			
3 バリアフリー計画						3.0	0.40			
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30			
1 広さ感・景観		事務所用途:天井高さ2.7m				4.0	0.30			
2 リフレッシュスペース		事務所用途:執務スペースの1%以上の食堂休憩室+自販機設置				5.0	0.30			
3 内装計画						1.0	0.40			
1.3 維持管理						3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		事務所用途:清掃性の良い仕上材を使用している。				4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30			3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		ビニル床20年,壁(天井)ボード張のウロク貼20年(30年)				5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途上位3種:給水管,汚水排水管,雑排水管:B以上,E不使用				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0	0.20			
2.4 信頼性						3.4	0.20			
1 空調・換気設備		事務所・集会所:空調集中コントローラー・換気コントロールスイッチで制御可能				4.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備		電話・LAN・BSTV設置,地階への精密機器設置無し				4.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.2	0.30	-	-	3.2
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	事務所3.65m,工場:5.35m	4.0	0.54	-	-	
2	空間の形状・自由さ	基準階1階壁長さ比率=0.22	4.0	0.46	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.34	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.84	4.6	0.20	-	-	4.6
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.81	2.9	0.50	-	-	2.9
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		外構:再生密粒度アスコン,再生砕石RC-40	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		事務所用途:OAフロア,共通:躯体+軽鉄+仕上材で容易に分別可	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量を87%に抑制	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	従業員・来客駐車場・荷捌き駐車スペース設置,出入口を分離	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害のチェックリストの過半を満たす。屋外広告物照明等なし。	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	